

中江藤樹・心のセミナー

「心のセミナー」は、広く市民の皆様には藤樹先生をもっと身近に知っていたいただきたいと願って、一昨年から『近江聖人・中江藤樹』の映画鑑賞会として、マキノ・高島・朽木及び今津の各地域で順次開催してきました。



高島藤樹会の活動

そして今年度は、二月十九日（日）の午後、安曇川公民館ふじのきホールにおいて二部構成で開催し、小学生からお年寄りまで約百二十名の方が来場されました。

第一部では、「映画『中江藤樹』制作物語」をテーマに、次の四名の方に対談をお願いしました。高橋志郎常務理事をコーディネーターとして、当映画製作の目的や経緯、苦労話や裏話などを真剣にかつ楽しく和

やかに語っていただきました。（次の肩書きは当時のものです。）

福井俊一氏（安曇川町長）

高見哲也氏（東映プロデューサー）

早藤甚五郎氏（安曇川町教委社会教育課長、映画制作実行委員会事務局）

中江 彰氏（中江藤樹記念館館長）



第二部は、

この映画制作にまつわるお話しを受けて、映画『近江聖人・中江藤樹』を上映しました。鑑賞された皆様は、

『聖人』と称された藤樹先生の人となりや生き方・考え方に改めて感動されたことと思います。

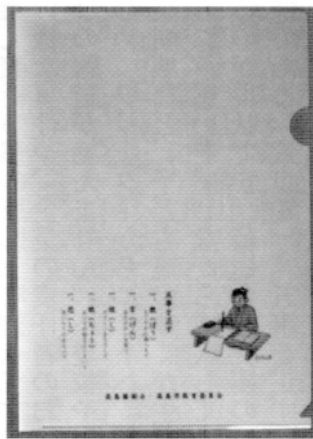


なお会場には、制作当時のスナップ写真などが展示されました。（事務局）

「よえもん君クリアファイル」の作成と贈呈——立志祭にて——

広報・啓発活動の一環として、「五事を正す」を入れたクリアファイルを作成し、市内全小学校の三年生対象に実施された立志祭において、全員に贈呈しました。

これまでも、藤樹会で制作してきた「藤樹紙芝居」（全十八巻）などを通して、小学生への教育・啓発に寄与してきました。今回、小学生にとつて最もなじみやすい藤樹先生の教えとして、「五事を正す」を手元に置いてもらおうと、キャラクター「よえもん君」も入れてクリアファイルを作成し、贈呈するものになったものです。



具体的には、三月七日前後に、市内全小学校で実施される『立志祭（※）』の場で、当会の理事または校長先生から、三年生全員にこのファイルを贈呈していただきました。当日「立志祭」に向いて、「五事を正す」などについてのお話を添

えてファイルをお渡しいただいた理事さん、お世話様でした。

五事を正す

- 一、貌（ぼう）
なごやかな顔つきで
- 一、言（げん）
あたたかい言葉で
- 一、視（し）
やさしいまなざしで
- 一、聴（ちやう）
あいての話をよくきいて
- 一、思（し）
思いやりのある心で

※『立志祭』について

（市教育委員会の立志祭実施要項より）

「立志祭は明治四十一年頃から、青柳小学校を中心として実施されてきた歴史ある行事であり、藤樹先生の誕生日である三月七日に、子どもたちは九歳の頃の藤樹先生の思いを知り、今の自分を見つめ、自分の意志を持つための足がかりとしてきた。今もなお、藤樹先生の教えは、人を敬い思いやりの心を育む人間形成にとつて大切なものであり、その教えを学び、心を豊かにたくましく生きていこうとする高島の子どもの育成をねらいとして実施する。」

その内容は学校によって異なりますが、講話、「大学」唱和、「私の志」発表、藤樹紙芝居、藤樹カルタ大会、藤樹ロード探索、等々です。また、旧町村内で合同開催される所もあります。（広報委員会）